

AWS Summit Japan 2026 建設・不動産ブース 展示資料

# 不動産プラットフォーム

2026.6

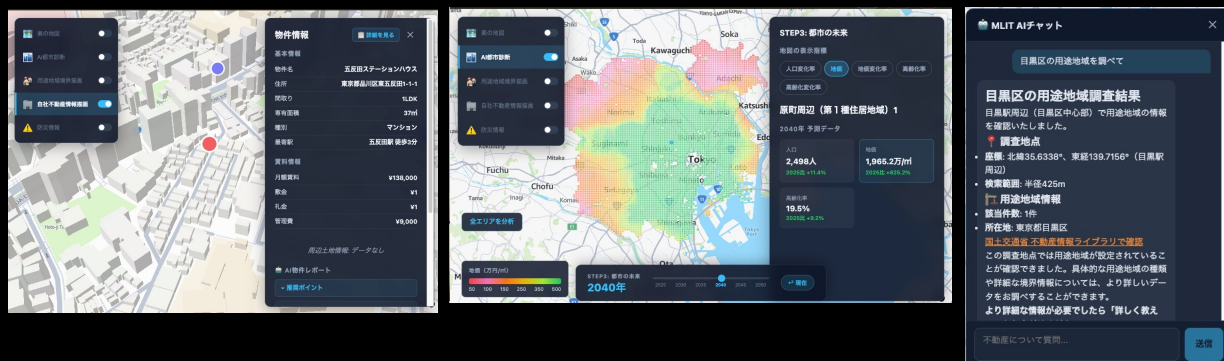


# AI Urban Digital Twin

## オープンデータと自社データを融合した AI 都市分析体験

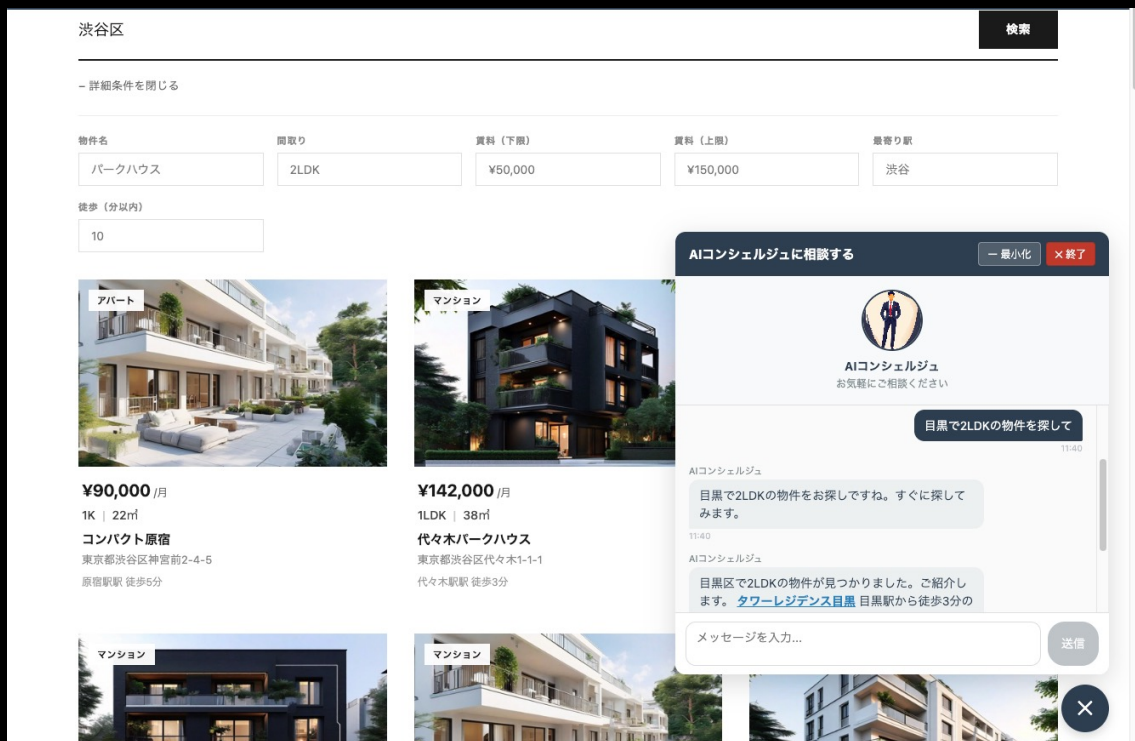


- 都市に関わる様々なデータをセキュアな環境で融合
  - 行政の持つオープンデータ
  - 自社だけが持つ物件データ
- Amazon Location Service による豊かな地図表現
  - 都市の 3D マップ上にあらゆるデータを可視化
- Amazon Bedrock を用いた 生成AI 都市分析
  - オープンデータを元にした都市診断
  - 統計データを元にした都市の未来予測
  - エリアに合わせた開発企画の生成
  - 物件と都市データを掛け合わせたレポート
  - API を用いた AI エージェントチャット



# 不動産流通支援 AI エージェント

Web サイト、電話、チャット 様々な顧客導線で利用できる AI エージェント



- **顧客体験を生成 AI でセルフサービス化**
  - Web サイトと電話に常駐する生成AI エージェント
  - いつでも、ツールを問わず顧客接点を創出
- **自社データに接続、操作まで行う AI エージェント**
  - 会話から自社の物件データベースを AI が検索
  - 最適な物件を AI の判断で提案
  - 顧客の要望に合わせて AI が予約データを操作し、内覧予約までセルフサービスで完結
- **Amazon Connect によるオムニチャネル対応**
  - AI エージェントは電話 / チャットの両対応
  - オムニチャネルでの 生成AI 体験

# AWS アーキテクチャ構成図



# システム全体像



AWS Cloud (ap-northeast-1)

## 開発分析機能

-  Bedrock (Claude Haiku) — 土地分析・シミュレーション
-  DynamoDB — エリア/予測/境界/ゾーニング/物件
-  Location Service — 地図表示・ジオコーディング
-  Lambda — analyze/simulate/geodata/zoning/map 等

## バッチ処理

-  Lambda × 3 — 取得 / 変換 / 住所変換
-  S3 (narkazu-poc) — 中間データ保存
-  Location Service — Geocode / ReverseGeocode
-  SSM Parameter Store — API キー管理

## 賃貸販売機能

-  Connect + AI Agent — 内見予約チャット
-  DynamoDB — 物件 / 内見予約テーブル
-  Lambda — 検索 / 予約作成 / 一覧 / キャンセル / 変更 / セッション管理
-  API Gateway — API 連携

## MLIT AI チャット

-  Bedrock AgentCore Runtime — MCP Server
-  ECR — MCP サーバーコンテナイメージ管理
-  Cognito — OAuth client\_credentials + JWT 認証
-  Secrets Manager — API キー・クライアントシークレット

## 共通基盤



CloudFront



S3



Cognito



API Gateway

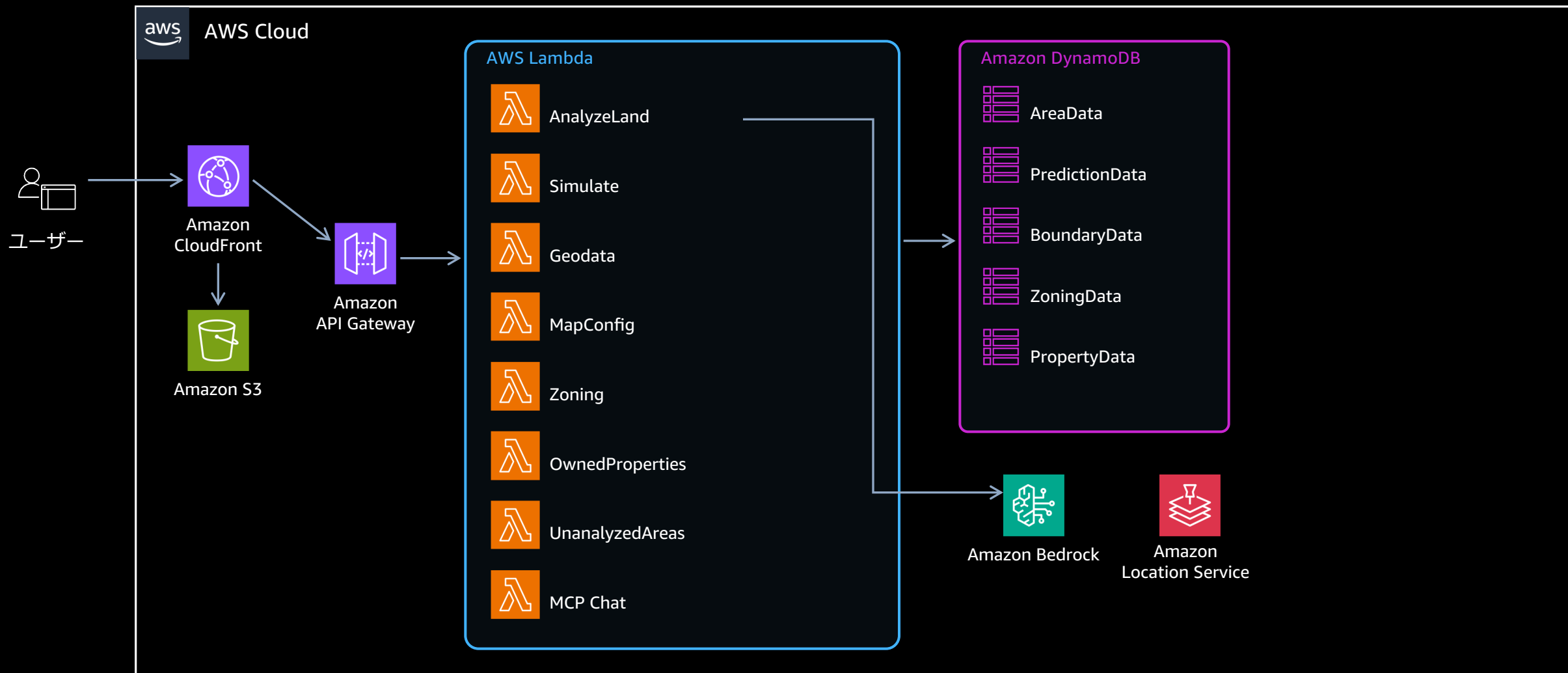


Auth Lambda



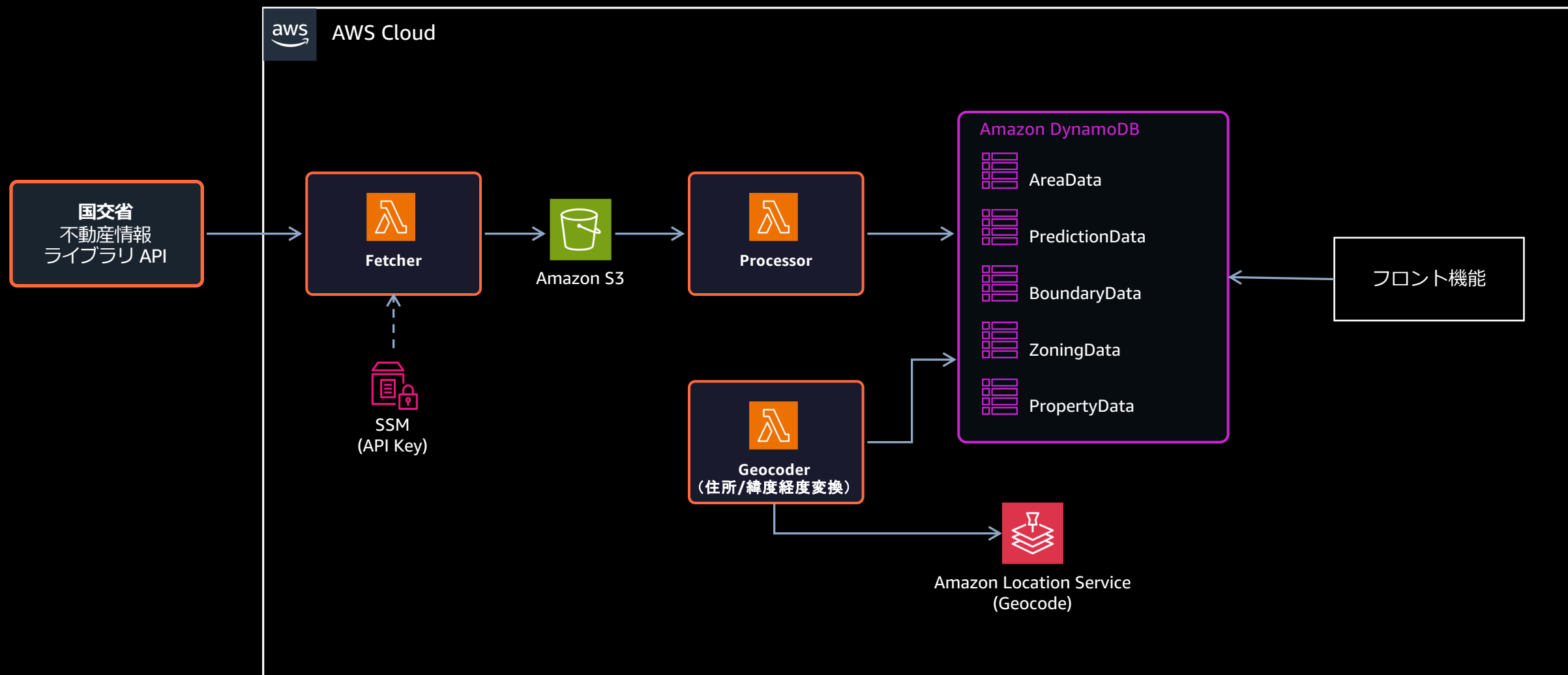
# 開発分析機能

Dynamo DB に格納された都市情報を  
Amazon Location Service 上に描画



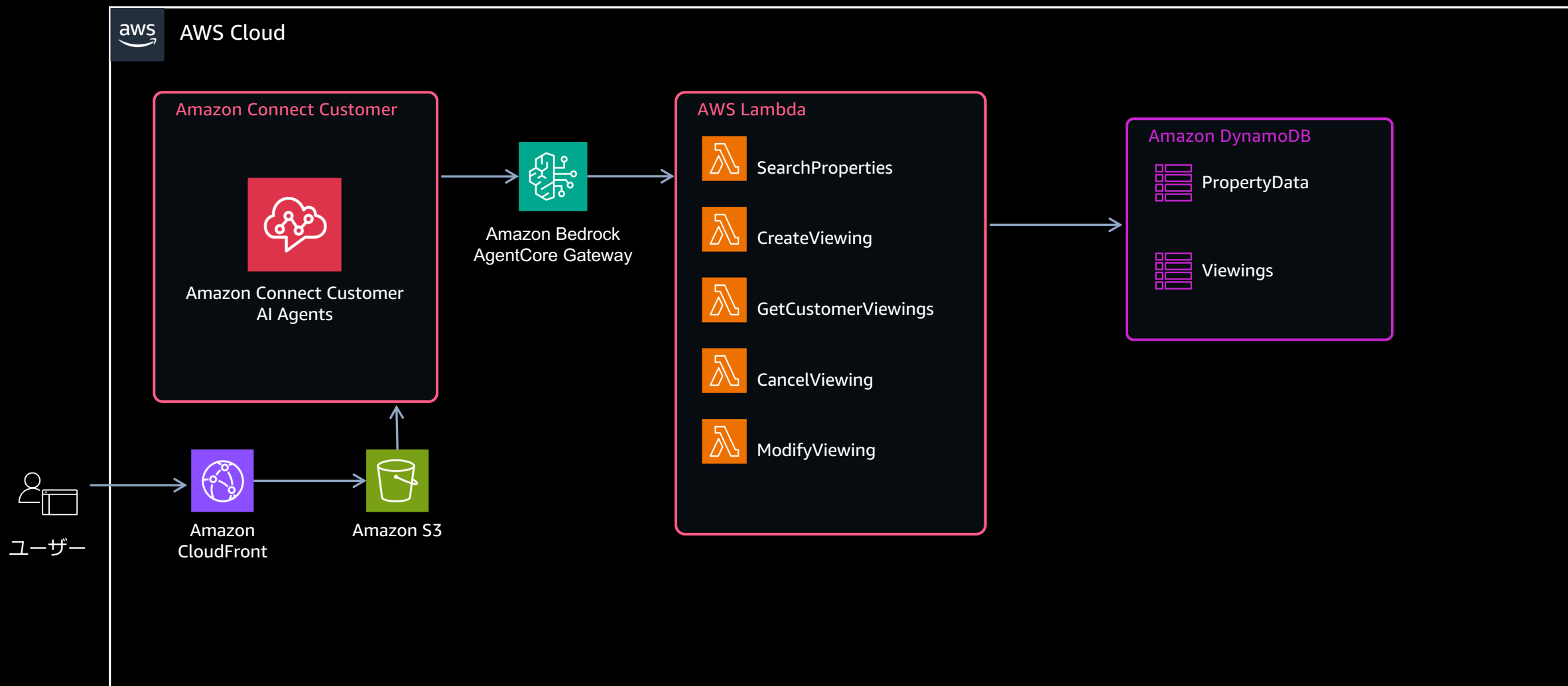
# バッチ処理

不動産情報ライブラリのAPIから取得したデータを  
S3に保管後、加工し DynamoDB に格納



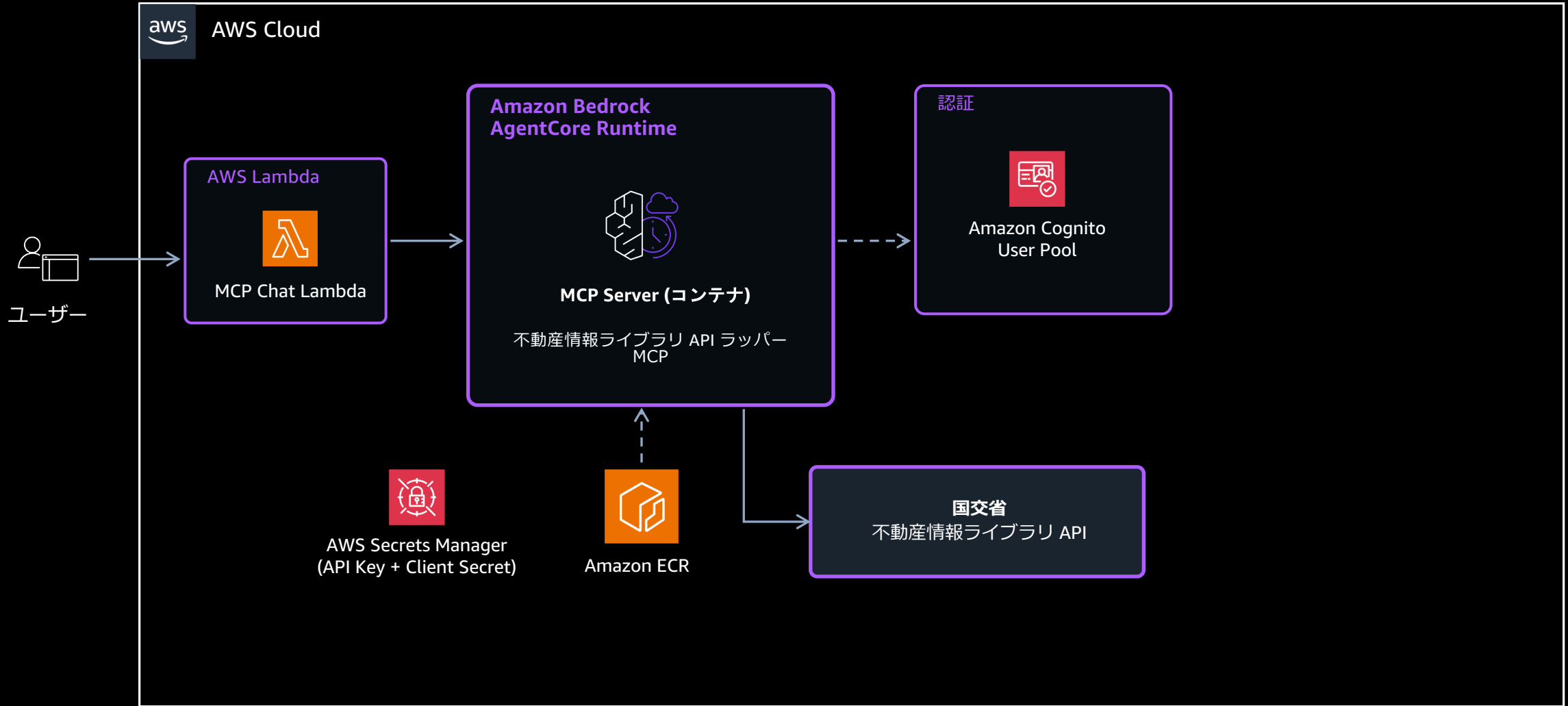
# 賃貸販売機能

Amazon Connect Customer AI Agents を利用して  
物件データにチャットアクセス



# MLIT AI チャット

不動産情報ライブラリの API にアクセスする  
チャット機能



# Thank you!

